

最近、日本列島のいたる所で頻繁に地震が発生しています。南海トラフ地震もいつ発生しても不思議ではない状況です。徳島では地震からくる津波の脅威も想定されるところです。このような中、地震や災害が発生した時、自分の命を守り、周りの人も守るためにどのように行動し、災害と対峙するのかという重要な課題があります。まず各自の気力・体力・協働力を育てることが大切だと思います。

このたび全校生徒によるラフティングの体験を実施しました。ラフティングは6名が力を合わせてボートを漕がないと前に進みません。いくら力任せでも各人がバラバラでは、思った方向に動きません。



体験は池田ダム湖で実施しました。全員が初心者ですので、安全面を最優先に、全く波のない静水面で、ライフジャケットを着け、専門の講師先生により、パドルの使い方を基本から教えていただきました。最初はぎこちなく、なかなか思った方向に進みません。ワイワイ楽しかったのが、意外と難しく、だんだん疲れてきました。そんな中、各艇から自

然と掛け声が聞こえてくるようになりました。「イチ！ニ！イチ！ニ！」不思議なことに呼吸を揃えると軽く漕いでも楽に進めます。



コツをつかんできたところで、全7艇によるレースです。水面に設置された2つのターンマークを八の字に回り、ゴールするまでの速さを競いました。風向きとわずかな水の流れを読んだコーナーワークがものをいいます。予選上位4艇による決勝では白熱の戦いとなりました。



その後、サップやカヌーの体験もしました。徳島は神戸大阪と陸続きになって久しく、車移動が当たり前になり船に乗る機会が少なくなりました。釣りやレジャーでボートを漕ぐ機会もあまりありません。そのような中で今回のラフティング体験は、貴重なものとなりました。



災害時、特に避難場所では、仲間との協力が求められます。特に本校は災害時広域避難場所にも指定されており、地域の住民と共同生活することも想定されます。

ラフティングは全身運動で筋力・持久力を鍛えるだけでなく、心を一つにしてパドルを漕ぎボートを操るというまさにチームビルディングです。また大自然の素晴らしさと共に脅威を感じることもできます。水害・津波発生時に落ち着いて行動する能力を養うこともできたと思います。